

平成29年度

事業報告書
決算報告書

公益財団法人広島観光コンベンションビューロー

目 次

第1表 事業報告書

1	設立目的及び概況	1
2	役員等の状況	1
3	理事会及び評議員会の開催	6
4	職員の状況	7
5	事業の実施状況	8

第2表 決算報告書

1	貸借対照表	3 4
2	貸借対照表内訳表	3 5
3	正味財産増減計算書	3 6
4	正味財産増減計算書内訳表	3 8
5	財務諸表に対する注記	4 0
6	附属明細書	4 1
7	財産目録	4 2
8	収支計算書	4 3
9	収支計算書内訳表	4 5
10	収支計算書に対する注記	4 8

第1表 事業報告書

平成29年度公益財団法人広島観光コンベンションビューロー事業報告書
(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

国内外からのコンベンション（各種会議・大会、展示会・見本市等をいう。）の誘致及び開催支援、観光客の誘致並びに観光資源の整備・開発等を行うことにより、広島県におけるコンベンション並びに広島市及びその周辺地域における観光の振興を図り、もって地域経済の活性化並びに国際相互理解の増進及び文化の向上に寄与することを目的とする。

(2) 概況

ア 設立年月日

平成7年12月1日

(平成23年9月1日 公益財団法人へ移行)

イ 基本財産

9億7,780万円

ウ 実施事業

- (ア) コンベンションの誘致、開催及びそのための支援
- (イ) コンベンションシティ広島、県内コンベンション施設等の広報及び宣伝
- (ウ) コンベンション・観光の企画、調査及び開発
- (エ) コンベンション・観光関連情報の収集及び提供
- (オ) 観光資源の整備・開発及び観光関係行事の実施
- (カ) 観光客の受入態勢の整備
- (キ) 観光宣伝・誘致活動の推進
- (ク) 広島市観光施設等の受託運営及び附帯事業の運営
- (ケ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況

(1) 役員等の人数（平成30年3月31日現在）

理事長	1人
副理事長	3人
専務理事	1人
常務理事	2人
理事	28人
監事	2人
評議員	28人

(2) 理事・監事

ア 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異 動 年 月 日	役 職	氏 名	異動事項
平成29年 4月 1日	専務理事	北 吉 孝 行	就 任
平成29年 4月 1日	常務理事	倉 石 雅 基	就 任
平成29年 4月 1日	理 事	村 上 明 雄	就 任
平成29年 4月 1日	理 事	阪 谷 幸 春	就 任
平成29年 6月 7日	理 事 長	深 山 英 樹	重 任
平成29年 6月 7日	副理事長	棕 田 昌 夫	重 任
平成29年 6月 7日	副理事長	仁 田 一 郎	重 任
平成29年 6月 7日	副理事長	下 村 純 一	重 任
平成29年 6月 7日	専務理事	北 吉 孝 行	重 任
平成29年 6月 7日	常務理事	倉 石 雅 基	重 任
平成29年 6月 7日	常務理事	佐々木 克 行	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	村 上 明 雄	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	阪 谷 幸 春	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	山 田 昌 徳	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	大 谷 修	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	神 田 道 則	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	武 井 秀 樹	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	今 井 誠 則	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	原 田 秀 二	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	北 野 泰 之	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	金 井 正 樹	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	野 住 伸 貴	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	香 川 基 吉	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	沖 田 和 也	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	前 泰 弘	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	荒 本 徹 哉	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	寺 戸 健 二	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	丹 羽 明 夫	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	土 橋 卓 也	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	面 出 成 志	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	木 下 飛 星	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	砂 原 勝 彦	重 任

異 動 年 月 日	役 職	氏 名	異動事項
平成29年 6月 7日	理 事	井 上 一 男	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	倉 田 和 典	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	古 田 裕 三	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	安 武 郁 夫	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	池 田 繁 実	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	小 谷 泰 造	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	金 本 謙 二	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	中 島 和 雄	重 任
平成29年 6月 7日	理 事	長 沼 叡 児	重 任
平成29年 6月19日	理 事	砂 原 勝 彦	辞 任
平成29年 6月27日	監 事	古 本 康 雄	辞 任
平成29年11月28日	理 事	水 内 美 輝	就 任
平成29年11月28日	監 事	隈 元 泰 治	就 任
平成29年12月31日	理 事	神 田 道 則	辞 任
平成30年 3月 9日	理 事	草 場 孝 義	就 任
平成30年 3月 9日	理 事	寺 戸 健 二	辞 任
平成30年 3月29日	理 事	北 野 泰 之	辞 任
平成30年 3月31日	常務理事	佐々木 克 行	辞 任
平成30年 3月31日	理 事	金 本 謙 二	辞 任

イ 平成30年3月31日現在の理事・監事は次のとおりである。

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
理 事 長	深 山 英 樹	平成23年 9月 1日
副 理 事 長	棕 田 昌 夫	平成25年 4月 1日
副 理 事 長	仁 田 一 郎	平成23年 9月 1日
副 理 事 長	下 村 純 一	平成24年 7月31日
専 務 理 事	北 吉 孝 行	平成29年 4月 1日
常 務 理 事	倉 石 雅 基	平成29年 4月 1日
常 務 理 事	佐々木 克 行	平成27年 4月 1日
理 事	村 上 明 雄	平成29年 4月 1日
理 事	阪 谷 幸 春	平成29年 4月 1日
理 事	山 田 昌 徳	平成26年 4月30日
理 事	大 谷 修	平成25年 2月 5日

役	職	氏	名	就 任 年 月 日
理	事	草 場	孝 義	平成30年 3月 9日
理	事	武 井	秀 樹	平成23年 9月 1日
理	事	今 井	誠 則	平成23年 9月 1日
理	事	原 田	秀 二	平成23年 9月 1日
理	事	金 井	正 樹	平成28年10月 4日
理	事	野 住	伸 貴	平成23年 9月 1日
理	事	香 川	基 吉	平成23年 9月 1日
理	事	沖 田	和 也	平成27年10月23日
理	事	前	泰 弘	平成23年 9月 1日
理	事	荒 本	徹 哉	平成27年10月23日
理	事	丹 羽	明 夫	平成28年 5月 6日
理	事	土 橋	卓 也	平成27年 6月11日
理	事	面 出	成 志	平成26年 3月18日
理	事	木 下	飛 星	平成27年10月22日
理	事	水 内	美 輝	平成29年11月28日
理	事	井 上	一 男	平成28年10月 4日
理	事	倉 田	和 典	平成23年 9月 1日
理	事	古 田	裕 三	平成23年 9月 1日
理	事	安 武	郁 夫	平成26年 9月 3日
理	事	池 田	繁 実	平成27年10月28日
理	事	小 谷	泰 造	平成23年 9月 1日
理	事	金 本	謙 二	平成23年 9月 1日
理	事	中 島	和 雄	平成23年 9月 1日
理	事	長 沼	叡 児	平成23年 9月 1日
監	事	曾 川	祐 治	平成26年 9月 3日
監	事	隈 元	泰 治	平成29年11月28日

(3) 評議員

ア 事業年度中の評議員の異動は、次のとおりである。

異 動 年 月 日	役 職	氏 名	異動事項
平成29年 4月 1日	評 議 員	佐 伯 安 史	就 任
平成29年 4月 1日	評 議 員	五 弓 博 文	就 任
平成29年 4月30日	評 議 員	山 崎 秋一郎	辞 任
平成29年 5月24日	評 議 員	姫 野 浩	就 任
平成29年 5月30日	評 議 員	高 橋 眞 司	辞 任
平成29年 6月28日	評 議 員	小 嶋 泰 紀	辞 任
平成29年11月14日	評 議 員	千 玉 敏 之	就 任
平成29年11月27日	評 議 員	部 谷 俊 雄	就 任
平成29年12月31日	評 議 員	沖 本 頼 政	辞 任
平成30年 1月 1日	評 議 員	島 本 泰 吉	辞 任
平成30年 3月 9日	評 議 員	龍 永 直 記	就 任
平成30年 3月31日	評 議 員	久保下 雅 史	辞 任
平成30年 3月31日	評 議 員	田 中 将 史	辞 任
平成30年 3月31日	評 議 員	中 野 忠 昭	辞 任

イ 平成30年3月31日現在の評議員は次のとおりである。

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
評議員 (評議員会会長)	青 木 信 之	平成25年 4月 1日 (平成25年5月30日)
評 議 員	越 智 光 夫	平成27年 6月 1日
評 議 員	佐 伯 安 史	平成29年 4月 1日
評 議 員	久 保 下 雅 史	平成27年 4月 1日
評 議 員	谷 村 武 士	平成23年 9月 1日
評 議 員	石 井 正 朗	平成27年 6月11日
評 議 員	梅 木 敏 明	平成27年 6月11日
評 議 員	龍 永 直 記	平成30年 3月 9日
評 議 員	藤 岡 成 輝	平成29年 3月17日
評 議 員	田 中 将 史	平成26年 2月 4日
評 議 員	百 田 和 之	平成26年 9月 3日
評 議 員	五 弓 博 文	平成29年 4月 1日
評 議 員	中 野 忠 昭	平成25年 3月21日
評 議 員	小 杉 真 澄	平成28年 5月 6日

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
評 議 員	小 林 隆 夫	平成 2 8 年 3 月 1 1 日
評 議 員	千 玉 敏 之	平成 2 9 年 1 1 月 1 4 日
評 議 員	石 田 文 典	平成 2 8 年 1 0 月 4 日
評 議 員	西 川 雅 己	平成 2 3 年 1 0 月 2 1 日
評 議 員	伊 勢 正 文	平成 2 8 年 1 0 月 4 日
評 議 員	信 原 弘	平成 2 8 年 5 月 6 日
評 議 員	姫 野 浩	平成 2 9 年 5 月 2 4 日
評 議 員	木 原 慎 二	平成 2 8 年 3 月 1 1 日
評 議 員	部 谷 俊 雄	平成 2 9 年 1 1 月 2 7 日
評 議 員	迫 谷 章	平成 2 3 年 9 月 1 日
評 議 員	竹 中 繁 雄	平成 2 8 年 1 0 月 4 日
評 議 員	池 上 博 文	平成 2 8 年 1 0 月 4 日
評 議 員	澤 田 清	平成 2 5 年 5 月 9 日
評 議 員	大 谷 博 国	平成 2 4 年 3 月 2 2 日

3 理事会及び評議員会の開催

(1) 理事会

開 催 日 等	議 決 事 項
平成 2 9 年 4 月 1 日 (決議の省略の方法)	1 専務理事及び常務理事の選任 2 常勤役員の報酬月額の設定
平成 2 9 年 5 月 2 3 日 (第 1 回理事会)	1 平成 2 8 年度事業報告 2 平成 2 8 年度決算 3 会長及び顧問の委嘱の同意 4 評議員会の招集
平成 2 9 年 6 月 7 日 (決議の省略の方法)	1 理事長、副理事長、専務理事及び常務理事の選定 2 常勤役員の報酬月額の設定
平成 3 0 年 3 月 9 日 (決議の省略の方法)	1 役員報酬の期末手当及び勤勉手当支給割合の変更 2 顧問の委嘱の同意 3 評議員会の招集
平成 3 0 年 3 月 2 6 日 (第 2 回理事会)	1 平成 3 0 年度事業計画 2 平成 3 0 年度収支予算

(2) 評議員会

開 催 日 等	議 決 事 項
平成29年 4月 1日 (決議の省略の方法)	1 理事の選任 2 評議員の選任
平成29年 5月24日 (決議の省略の方法)	1 評議員の選任
平成29年 6月 7日 (第1回評議員会)	1 平成28年度事業報告 2 平成28年度決算 3 理事の選任
平成29年 9月29日 (決議の省略の方法)	1 理事の選任 2 監事の選任 3 評議員の選任
平成30年 3月 9日 (決議の省略の方法)	1 理事の選任 2 評議員の選任
平成30年 3月28日 (第2回評議員会)	1 平成30年度事業計画 2 平成30年度収支予算

4 職員の状況

平成30年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。

区 分	部 長	次 課 主 長 長 幹	主 主 任 査	主 事	嘱 再 託 雇 用	合 計
企 画 総 務 部	(1)※	3	2	0	1	6
コンベンション振興部	1	4	1	4	1	11
観 光 振 興 部	3	7	5	2	1	18
合 計	4	14	8	6	3	35

※ 企画総務部長は常務理事の事務取扱

5 事業の実施状況

【公益目的事業】

I コンベンション振興事業

1 情報収集事業

(1) コンベンション調査の実施

ア JCCBのコンベンション開催意向調査結果データの入手 5,181件
※JCCBとは、一般社団法人日本コンGRESS・コンベンション・ビューローの略

イ 会議主催者等へのアンケート調査の実施 308団体

ウ コンベンションカレンダーの更新

広島で開催予定の会議等の情報を3か月ごとに更新し、ホームページ上で公開した。

(2) ICCAデータの活用

国際会議やイベントを主催する100か国1,100の団体が加盟する国際会議協会（ICCA）のデータを活用し、国際会議の誘致を推進した。

(3) 顧客管理システムの運用

コンベンション調査等により収集した情報を顧客管理システムで整理するとともに、これまで蓄積してきた学会等のデータを分析するなどして、効率的に誘致・支援活動を行った。

2 コンベンションの誘致・支援事業

コンベンション主催者等に対して広島のPRや各種の誘致・支援事業を展開し、広島でのコンベンション開催の促進を図った。

○平成29年度コンベンション等開催状況

区 分	国際会議	国内会議	その他	合 計
コンベンション件数	118件 (目標60件)	376件	67件	561件 (目標360件)
延べ人数	179,013人	144,584人	92,715人	416,312人 (目標370,000人)

【評 価】 情報収集と個別誘致活動を積極的に行った結果、件数目標は大きく上回ることができ、延べ人数目標も達成できた。

(1) 誘致活動の実施

ア グローバルMICE強化事業

グローバルMICE都市として、国際会議誘致に関する事業を実施し、一層の誘致促進を図った。

(ア) 国際会議誘致・支援セミナーの開催（広島大学）

a 2017年広島大学・（公財）広島観光コンベンションビューロー（以下「ビューロー」という。）・東広島市 国際会議支援合同説明会の開催

- ・開催日 平成29年12月13日（水）
- ・会場 広島大学東広島キャンパス 法人本部棟
- ・主催 広島大学、ビューロー
- ・内容 発表1「広島大学の助成公募、支援の紹介」
発表2「ビューローの会議開催支援について」
発表3「東広島市の会議開催支援について」
- ・参加者数 32名

b 「広島平和記念公園エリア コンベンション施設視察ツアー」及び「コンベンション誘致・開催支援説明会」の実施

- ・実施日 平成30年2月19日（月）
- ・会場 広島国際会議場、広島市文化交流会館、JMSアステールプラザ
- ・主催 ビューロー
- ・内容 視察ツアー（平和記念公園エリアのコンベンション施設（広島国際会議場、広島市文化交流会館、JMSアステールプラザ））
ビューローの支援説明
- ・参加者数 5名

(イ) 国際会議誘致・支援セミナーの開催（広島県内大学）

a 広島市立大学

- ・開催日 平成29年7月14日（金）
- ・会場 広島市立大学
- ・主催 ビューロー
- ・内容 ビューローの誘致・支援案内
- ・参加者数 7名

b 広島女学院大学

- ・開催日 平成29年7月26日（水）
- ・会場 広島女学院大学
- ・主催 ビューロー
- ・内容 ビューローの誘致・支援案内
- ・参加者数 23名

c 近畿大学工学部

- ・開催日 平成29年8月2日（水）
- ・会場 近畿大学工学部広島キャンパス次世代基盤技術研究所
- ・主催 ビューロー
- ・内容 ビューローの誘致・支援案内
- ・参加者数 25名

- (ウ) (公財)福岡観光コンベンションビューローとの誘致戦略調整会議の開催
(公財)福岡観光コンベンションビューローと国際会議等の共同誘致に向けて、意見交換を行う等の連携を強化した。

- ・開催日 平成29年6月8日(木)
- ・場所 (公財)福岡観光コンベンションビューロー

(エ) シャトルバスの提供

国際会議等の開催時に会場間等のシャトルバスを提供し、参加者の利便性向上を図るとともに、更なる誘致活動の向上に繋げた。

- ・提供件数 11件

(オ) ホームページのリニューアル

広島をMICE開催都市としてより魅力的に紹介し、MICEの誘致・開催件数を増加させるため、次の4点を充実させた。

- ・MICE施設や宿泊施設の検索機能
- ・MICE関連事業者の検索機能
- ・MICEロゴや写真等、誘致活動に必要な素材の申請やダウンロード機能
- ・MICE主催者や参加者等の声を掲載

(カ) ロゴマークの作成

広島のMICEブランド構築の一環としてロゴマークを公募し、決定した。

a. 募集期間 平成29年10月2日(月)～11月15日(水)

b. 応募状況 応募者数 174人、応募件数 284件

c. 選考及び決定

- ・アドバイザー意見聴取

聴取日 平成29年12月14日(木)

場所 レストハウス3階

アドバイザー 及川久男広島市立大学芸術学部教授(視覚造形)ほか4名

内容 アドバイザーからの意見聴取を行い、応募総数284件中、要件を満たす222件を対象に、選考委員会において選考対象とする候補作品を10点に絞り込んだ。

- ・最終選考審査

審査日 平成29年12月18日(月)

場所 広島国際会議場 研修室3

選考委員 北吉孝行ビューロー専務理事(委員長)

ほか6名

内容 選考委員会を開催し、最優秀賞1点、優秀賞2点を選出した。最優秀賞1点について専門家による補作を行い、MICEロゴマークを決定した。



(キ) 国際PCO協会ファムトリップへの対応

東京で開催された国際PCO協会総会参加の3名を事前に受入れ、広島のコンベンション施設やユニークベニュー等の広島の強み、魅力をアピールした。

- ・ 受 入 日 平成30年2月5日(月)～7日(水)
- ・ 場 所 宮島、グランドプリンスホテル広島、広島国際会議場、おりづるタワー
広島城、三景園等
- ・ 来 訪 者 ミーティングプランナー2人(インド、アラブ首長国連邦)、メディア
1人(アラブ首長国連邦)



イ 個別誘致活動の実施

国内外の会議関係者及び展示会・見本市の主催団体等に対し、誘致活動を行った。

(ア) 首都圏等での活動

主として首都圏に本部を置く団体、学術会議本部、企業等を中心に誘致活動を展開した。

- ・ 訪問件数 224件

(イ) 広島県内での活動

県内の大学を始めとする各教育機関、各種企業・団体等を中心に誘致活動を展開した。

- ・ 訪問件数 743件

ウ 独立行政法人国際観光振興機構への参加

独立行政法人国際観光振興機構(以下「JNTO」という。)の賛助団体として、JNTOのサポートを受け、MICE、インバウンド関係事業の円滑な推進を図った。

エ 独立行政法人国際観光振興機構MICE事業への参加

JNTOが実施する海外コンベンショントレードショーなどのMICE事業に参加し、誘致活動を推進した。

オ 海外コンベンショントレードショーにおける誘致活動

海外で開催される主要コンベンション・インセンティブ旅行関係のトレードショーに出展し、宣伝・誘致活動を行った。

(ア) IMEX 2017への出展

- ・ 開催時期 平成29年5月16日(火)～18日(木)
- ・ 場 所 ドイツ・フランクフルト



- ・参加者等 国際会議主催者等 3, 942人
- 【目 標】 商談件数 20件
- 【実 績】 商談件数 35件（平成28年度 20件）
- 【評 価】 目標を上回る35件の商談を行った結果、今後の誘致継続案件として、国際会議14件、企業ミーティング8件、インセンティブツアー2件の情報を得た。



(イ) IMEX America 2017への出展

- ・開催時期 平成29年10月10日(火)～12日(木)
- ・場 所 アメリカ・ラスベガス
- ・参加者等 国際会議主催者等 3, 286人
- 【目 標】 商談件数 20件
- 【実 績】 商談件数 25件（平成28年度 24件）
- 【評 価】 目標を上回る25件の商談を行った結果、今後の誘致継続案件として、国際会議5件、企業ミーティング5件、インセンティブツアー11件の情報を得た。

(ウ) アジア・太平洋地域国際会議主催者セミナーへの参加

- ・開催時期 平成29年10月24日(火)
- ・場 所 シンガポール
- ・参加者等 国際会議主催者、PCO等35人
- 【目 標】 商談件数 15件
- 【実 績】 商談件数 10件（平成28年度 24件）
- 【評 価】 10件の商談を行った結果、今後の誘致継続案件として、国際会議9件の情報を得た。



(エ) ICCA AMP (Association Meeting Programme) 2017への参加

- ・開催時期 平成29年6月29日(木)～7月1日(土)
- ・場 所 ヒルトン福岡シーホーク
- ・内 容 ICCAの会員である世界各都市のコンベンション推進団体と国際会議を主催する学会・協会の役員と情報交換し、有益な国際会議案件情報8件を得ることができた。

カ 国際MICEエキスポ（IME2018）への出展

コンベンション開催の決定権を有するキーパーソンなどに対して、広島での開催を働きかけた。

- ・開催時期 平成30年2月28日(水)
- ・会 場 京王プラザホテル
- ・主 催 JNTO、JCCB
- ・出展者数 78団体・企業
- ・入場者数 国際会議主催者、PCO等 949人
- 【目 標】 商談件数 30件
- 【実 績】 商談件数 34件

【評価】 開催時間が半日及び開催形態が商談会方式に変更したことにより来場者数が減少したが、誘致継続案件として、国内及び国際会議28件、インセンティブツアー2件、イベント4件の情報を得た。



キ キーパーソンの視察受入

各地から国際会議及びインセンティブツアー等を扱うキーパーソンの視察受入を行い、広島の魅力を紹介することにより、広島での開催を働きかけた。

(ア) 国際イノベーション学会及び国際シーフード学会

- ・受入日 平成29年7月2日(日)～4日(火)
- ・来訪者 国際イノベーション学会1人、国際シーフード学会1人

(イ) IEEE 802.1 国際会議年次会

- ・受入日 平成30年1月19日(金)
- ・来訪者 国立研究開発法人情報通信研究機構2人

(ウ) JNTO主催のファムトリップ受入

- ・事業名 平成29年度国際会議キーパーソン招請事業 (Meet Japan)
- ・受入日 平成30年2月27日(火)～28日(水)
- ・来訪者 国際学会本部1人(アメリカ)、ミーティングプランナー1人(イタリア)

ク 広島産学公連携MICE推進協議会の運営

関係団体、大学、行政機関等から選出された委員で構成された「広島産学公連携MICE推進協議会」及び海外からのインセンティブツアー誘致を目的に新設したインセンティブ部会を運営し、広島におけるMICE誘致を推進した。

- ・広島産学公連携MICE推進協議会 開催回数 2回
- ・ 〃 インセンティブ部会 開催回数 1回

ケ 中国・四国地区コンベンション推進協議会の開催

(ア) 中国・四国地区コンベンション推進協議会 総会

コンベンション等に関する情報収集・交換及び推進に関する調整や研究を行うとともに、従来実施していた総会開催後の講演会を参加者の資質向上のための研修会に変更し、実施した。

- ・開催時期 平成29年7月6日(木)～7日(金)
- ・場 所 松山市立子規記念博物館
- ・実施主体 中国・四国地区コンベンション推進協議会

(イ) 研修会及びコンベンション施設等視察

中国・四国地区コンベンション推進協議会の総会にて東北地区との合同コンベンション誘致懇談会の中止が決議されたため、協議会会員の総意により、実務者を対象とした研修会を開催し、職員の資質向上に努めた。

a 研修会

開催日 平成30年3月15日(木)

場所 広島国際会議場

参加者 12コンベンション推進団体25人

内容 (講演内容)

誘致提案書の書き方について

(講演者)

株式会社コングレ コンベンション事業本部

ディレクター 石田 千晃



b コンベンション施設等視察

実施日 平成30年3月16日(金)

場所 広島国際会議場、広島平和記念資料館東館及びおりづるタワー

参加者 12コンベンション推進団体23人

(2) 支援活動の実施

ア コンベンション誘致助成制度

コンベンション主催者に対し、開催経費の一部を助成することにより、広島での開催を促進した。

(ア) 学会名 第26回国際行動神経科学会年次大会

・開催期間 平成29年6月26日(月)～30日(金)

・助成金額 227万1千円

・参加者数 312人(うち外国人200人、参加国数8か国)

(イ) 会議名 第3回国際放射線技術科学会議

・開催期間 平成29年10月19日(木)～21日(土)

・助成金額 86万円

・参加者数 337人(うち外国人17人、参加国数8か国)

(ウ) 会議名 第34回センサ・マイクロマシンと応用シンポジウム

・開催期間 平成29年10月31日(水)～11月2日(金)

・助成金額 200万円

・参加者数 777人(うち外国人12人、参加国数6か国)

(エ) 学会名 第21回日本医業経営コンサルタント学会広島大会

・開催期間 平成29年11月16日(木)～17日(金)

・助成金額 300万円

・参加者数 2,218人

イ コンベンション開催準備資金貸付事業

コンベンション主催者に対し、開催に必要な準備資金の貸付を行うことにより、広島での開催を支援した。

- ・会 議 名 第25回国際音響振動会議
- ・貸 付 日 平成29年6月1日（木）
- ・開催期間 平成30年7月8日（日）～12日（木）
- ・貸付金額 300万円
- ・参加者数 500人

ウ 歓迎用看板の掲出

歓迎用看板を掲出し、参加者に対し歓迎の意を表した。

- ・掲出場所 JR広島駅
- ・件 数 23件



エ 大規模会議等への支援

大規模会議等の開催を支援するため、観光親善大使やボランティアガイドの派遣、伝統芸能等の提供を行った。

- (ア) 観光親善大使の派遣 8件
- (イ) ボランティアガイドの派遣 6件
- (ウ) 伝統芸能等の提供 10件
- (エ) 広島市長メッセージの提供 26件
- (オ) 広島市平和記念資料館観覧料免除 37件



(伝統芸能等の提供)

オ 記念品等の提供

コンgresバッグや観光パンフレット等を会議等の参加者へ提供し、歓迎の意を表した。

バッグ作成枚数 40,000枚（ビニール製）

3 広報・宣伝事業

(1) 機関紙「ひろしま観光コンベンション」の発行

コンベンションの開催やポストコンベンション情報、観光情報、ビューローの活動状況等を掲載した機関紙「ひろしま観光コンベンション」を発行し、コンベンション主催者等への情報提供を行った。

号 数	発 行 月	発 行 部 数
第107号	平成29年 7月	7,200部
第108号	平成29年10月	7,200部
第109号	平成30年 1月	7,200部
第110号	平成30年 4月	7,200部

(2) ホームページの運営

コンベンション施設情報、誘致・支援内容及びコンベンションの開催情報等をコンベンション主催者・賛助会員等へ提供した。

- ・アドレス <https://www.hiroshimacvb.jp/>
- ・ページビュー数 57,776ページビュー

4 調査・企画事業

(1) 経済波及効果調査の実施

コンベンション主催者及び参加者に対し支出に関するアンケート調査を行い、コンベンション開催に伴う経済波及効果を算出した。

(平成29年度経済波及効果額)

総支出額	経済波及効果額	経済波及倍率
155億4,592万円	246億5,674万円	1.59倍

算定は、参加者1人当たりの支出額（主催者の支出額を含む。過去5か年平均）3万7,370円及び広島市産業連関表により算定したその経済波及効果額5万9,271円のそれぞれの額に、平成29年度コンベンション延べ参加者数41万6千人を乗じた額としている。

(2) セミナーの開催

ア 観光・コンベンションセミナー

観光及びコンベンションに関する知識・ノウハウの習得、接遇能力の向上を図るため、広島商工会議所との共催により、コンベンション・観光関連団体、企業を対象としたセミナーを開催した。

- ・開催日 平成30年2月6日(水)
- ・会場 ホテルグランヴィア広島
- ・主催 ビューロー、広島商工会議所
- ・テーマ 「スポーツツーリズムと地域振興
～2020年までに何をなすべきか～」
- ・内容 講演1「スポーツによる地域活性化」
 - ・講師 平井 明成（スポーツ庁スポーツ総括官）講演2「東京2020オリパラを契機としたスポーツツーリズムと地域振興」
 - ・講師 原田 宗彦（(一社)日本スポーツツーリズム推進機構会長、早稲田大学スポーツ科学学術院教授）

【目標】 参加者数200人

【実績】 参加者数151人

【評価】 平井氏から国の立場でスポーツを景観・環境・文化などの地域資源と掛け合わせて、持続的なまちづくりや地域活性化に繋げようとしている全国の事例を御紹介いただくとともに、原田氏から東京2020オリパラを

契機としたスポーツツーリズムと地域振興について御講演いただいた。参加者は観光及びコンベンションに関する知識・ノウハウの習得ができた。



(平井 明成 講師)



(原田 宗彦 講師)

イ MICEセミナー

広島のMICE関係者を対象として研修会を行い、知識の向上を図った。

(ア) 第1回MICEセミナー

- ・開催日 平成29年9月26日(火)
- ・会場 合人社ウェンディひと・まちプラザ
- ・主催 ビューロー、広島市
- ・講演 テーマ インセンティブツアーの意義について
講師 日本政府観光局コンベンション誘致部担当部長 影山 寛
テーマ インセンティブツアーケーススタディ
講師 MICE Services EVEN 代表 浅香 雅司

(イ) 第2回MICEセミナー

- ・開催日 平成30年3月23日(金)
- ・会場 合人社ウェンディひと・まちプラザ
- ・主催 ビューロー、広島市
- ・講演 テーマ 日本のMICEが目指す方向性と地方の役割について
講師 日本政府観光局コンベンション誘致部 次長 巽 麻里子
- ・報告 テーマ 広島のブランディングについて
説明者 ビューロー コンベンション振興部長 小合 均

【目標】 参加者数 年間100人

【実績】 参加者数 年間118人

【評価】 MICE誘致に関する知識やノウハウの向上を図り、関係者に対してチーム広島としての一体感と機運を醸成することができた。

Ⅱ 観光振興事業

1 観光客の受入態勢整備事業

(1) 観光ボランティアガイド活動促進

観光ボランティアガイド活動を支援し、観光客の受入態勢を整備した。

ア 「無料ガイドの日」の実施

イ 観光ボランティアガイド活動のPR

(2) 外国人観光客受入の実施

訪日外国人観光客向けにレストハウス前でおりづる体験イベントを実施した。

第1回

- ・開催日 平成29年5月28日(日)
- ・参加者数 24の国と地域 77人

第2回

- ・開催日 平成29年11月3日(金・祝)
- ・参加者数 21の国と地域 87人

(3) インバウンド受入ビジネスフェアの開催

外国人観光客の受入に取り組みたい広島企業の店舗とインバウンド向け事業を行っている企業等をつなぐ商談会を開催し、広島のインバウンド受入態勢の向上を図った。

・開催日 平成29年6月19日(月)～20日(火)

・会場 広島国際会議場

【目標】 出展小間数 40小間
来場者数 1,000人

出展者へのアンケートで「成果があった」とする商談件数
150件

【実績】 出展小間数 34小間
来場者数 1,332人

出展者へのアンケートで「成果があった」とする商談件数
200件

【評価】 会場構成の都合上、目標の出展小間数に達しなかったが、来場者数は目標を上回り、「成果があった」とする商談の件数は目標の1.3倍となった。



(おりづる体験イベント)



(インバウンド受入ビジネスフェア)

2 観光資源整備・開発事業

(1) 広島市観光振興ネットワーク会議の運営

観光情報の共有や情報交換を行い、観光関係者の連携を図った。

- ・開催回数 2回（平成29年4月18日（火）、11月7日（火））

(2) 広島湾ナイトクルージングの実施

観光客の誘致、滞在時間・宿泊数の延長及び広島湾周辺の賑わいづくりに資することを目的として、船舶事業者等で構成する実行委員会において、「広島湾ナイトクルージング」を実施した。

- ・期 間 平成29年7月16日（日）～9月30日（土）
- ・航 路 数 8航路
- ・乗船者数 15,982人

3 観光宣伝・誘致活動推進事業

(1) 広域観光の推進及び観光宣伝隊への参加等

ア 国内観光客への宣伝・誘致活動

(ア) 「ツーリズムEXPOジャパン2017」への出展

- ・開催期間 平成29年9月21日（木）～24日（日）
- ・開催地 東京ビッグサイト
- ・来場者数 191,577人

※広島県観光連盟、広島・宮島・岩国地方観光連絡協議会との共同出展

(イ) 観光情報説明会

名 称	時 期	場 所	商談件数
広島県観光連盟観光 情報説明会	平成29年9月5日（火）	東京都	8件
	平成29年9月6日（水）	名古屋市	9件
	平成29年9月29日（金）	大阪市	9件
	平成29年10月12日（木）	福岡市	5件

【実 績】 商談件数 31件（予定商談件数 25件）

(ウ) 観光宣伝隊

宣伝隊名称等	時 期	場 所	訪問件数
宮島・広島・岩国・呉・ 廿日市共催首都圏観光 宣伝隊	平成29年12月5日（火） ～7日（木）	東京都	41件



(ツーリズムEXPOジャパン2017)



(宮島・広島・岩国・呉・廿日市共催首都圏観光宣伝隊)

イ 外国人観光客への宣伝・誘致活動

オーストラリアとスペインにおいて現地での旅行フェアやセミナーに参加し、発地マーケットの情報収集やプロモーション活動に取り組んだ。特に、重点方面に設定している欧州の中で広島への関心が高いスペインにおいて、旅行見本市に参加し、広島ブースには2,000人近い来場があった。

また、国内では商談会、フォーラム等に参加し、訪日旅行取扱旅行会社を中心にプロモーション活動を行った。

あわせてホームページ、フェイスブックなども活用し、広島の魅力をPRした。

名 称	時 期	場 所
J N T O 訪日旅行セミナー参加 【目標】 商談件数 25件 【実績】 商談件数 50件以上 【評価】 シドニー、ブリスベンにおいて、広島に関心の高い訪日旅行取扱旅行会社 にプロモーションを行うことにより、 広島への関心を高めることができた。	平成29年 12月4日(月) ～9日(土)	オースト ラリア
国際旅行博 (F I T U R - F e r i a I n t e r n a c i o n a l de Turismo 2018) 参加	平成30年 1月14日(日) ～23日(火)	スペイン
関係機関への誘致活動及びマーケット情報収集 【目標】 商談件数 15件 【実績】 商談件数 15件 【評価】 インバウンド振興フォーラム等の機会を活用し、最新情報の提供を 行うとともに、J N T O や現地旅行会社等を通じて、最新のマーケッ ト情報を収集することができた。		
主な活動 2017中国地方インバウンドフォーラム 参加 【実績】 商談件数 6件	平成29年 9月 5日(火)	広島市

名 称	時 期	場 所
第18回JNTOインバウンド旅行振興フォーラム参加 【実績】商談件数 6件	平成29年 9月14日(木)	大阪市
VISIT JAPANトラベルマート 2017参加 【実績】商談件数 18件 (予定商談件数 23件)	平成29年 9月21日(木) ～22日(金)	東京都



JNTO訪日旅行セミナー（シドニー）



FITUR2018（スペイン）

(2) 湯来地区の観光振興

湯来地区で行われる祭り・イベントを支援するとともに、観光情報を発信し、湯来地区の観光振興を図った。

ア 第30回湯の山温泉桜まつり

- ・開催日 平成29年4月1日(土)～2日(日)
- ・会場 サンピア湯来
- ・実施主体 湯の山温泉まつり実行委員会

イ 第36回広島県西部神楽競演大会

- ・開催日
 - ・会場
 - ・実施主体
- } 中止

ウ 第27回湯来温泉ホテルまつり

- ・開催日 平成29年6月24日(土)～7月2日(日)
- ・場所 湯来交流体験センター
- ・実施主体 湯来温泉観光商工同業組合

(3) 観光宣伝物作成・広告掲出

広島県の観光パンフレット等を作成して配布するとともに、旅行雑誌等に広島県の観光PR広告を掲載し、広島県への観光客誘致を推進した。

ア 観光宣伝物作成

区 分	名 称		数 量
国内向け観光 パンフレット	「きんさい広島」		19,000部
	「ようこそ！広島へ 観光ガイドマップ」		323,000部
	「ひろしま修学旅行ガイドブック」		5,000部
	「グルメ&ナイトガイドブック」		50,000部
外国人向け観光 パンフレット	「きんさい広島」（英語版）		19,000部
	「ようこそ！広島へ 観光ガイドマップ」	英語版	207,500部
		中国語簡体字版	15,000部
		中国語繁体字版	15,000部
		ハングル版	15,000部
		フランス語版	8,000部
		スペイン語版	11,000部
		イタリア語版	6,000部
		タイ語版	4,800部
		ドイツ語版	—
		ロシア語版	—

※ 「きんさい広島」は昨年度まで「ひろしまにおいでよ」としていたものを改題した。

※ 「ようこそ！広島へ観光ガイドマップ」ドイツ語版・ロシア語版は在庫があったため、今年度は作成していない。

イ 広告掲出

誌 名	発行元	発行部数
「道の駅」旅案内2017秋号・冬号	ゼンリン	110,000部

(4) 親善交流

広島市にゆかりのある都市を訪れ、表敬訪問を行い交流を深めるとともに、祭りなど現地のイベントに参加して、広島県のPRを実施した。

また、広島県への訪問団の受入を行い、交流を深めた。

なお、平成30年2月13日、東温市観光PRキャラバンの来訪時に、東温市観光物産振興協会と当ビューローが相互に友好関係を深め、広島市と東温市の交流を促進するとともに、相互に繁栄することを念願し、観光交流協定を結んだ。

ア 親善訪問

名 称	時 期	場 所
第30回浜田市親善訪問	平成29年8月5日(土)	浜田市
第39回北広島市親善訪問	平成29年9月7日(木)～10日(日)	北広島市
第37回沖縄親善訪問	平成29年9月15日(金)～19日(火)	沖縄市
第53回ホノルル姉妹都市親善訪問	平成30年3月8日(木)～14日(水)	ホノルル市

イ 訪問団受入

名 称	時 期
広島東洋カープ沖縄協力会	平成29年4月7日(金)
	平成29年7月5日(水)
浜田市観光訪問団	平成29年7月22日(土)
平成29年度北広島市子ども大使団	平成29年8月4日(金)～6日(日)
東温市観光PRキャラバン	平成30年2月13日(火)



(北広島市親善訪問)



(ホノルル姉妹都市親善訪問)

(5) 観光親善大使選考・観光宣伝活動

広島市の代表にふさわしい意欲あふれる観光親善大使を選考し、観光関連事業において観光PRを行い、広島への観光客誘致を推進した。

ア 2017広島観光親善大使の選考

- ・募集期間 平成29年5月1日(月)～25日(木)
- ・募集方法 広島市の広報紙「ひろしま市民と市政」等
- ・選考審査会 一次審査 平成29年6月 6日(火)
最終審査 平成29年6月13日(火)
- ・選考結果 3人を選出した。

イ 観光関連事業への参加

- 【目 標】 派遣件数 60件
- 【実 績】 派遣件数 60件

【評価】 派遣件数は目標を達成し、観光親善大使を派遣し観光PRをすることで観光客誘致に繋がった。



(ひろしまフラワーフェスティバル)



(ひろしまフードフェスティバル)

4 観光施設管理運営等受託事業

(1) 観光案内所の運営

広島市観光案内所を年中無休で運営し、広島市及びその周辺地域を訪れる国内外の観光客の利便性の向上を図った。

ア 設置場所及び営業時間

(ア) JR広島駅（南口、新幹線口）

9：00～17：30

※ 平成29年10月に広島駅総合案内所が開設され、両案内所は閉鎖となった。

(イ) 平和記念公園レストハウス内

4月～7月、9月～11月、3月 8：30～18：00

8月1日～4日、7日～31日 8：30～19：00

8月5日 8：30～20：00

8月6日 7：30～20：00

12月～2月 8：30～17：00

※ レストハウスの改修工事に伴い、平成30年2月～3月は平和記念資料館1階に移転し、臨時観光案内所において観光案内を行った。

(ウ) 紙屋町地下街（シャレオ）

11：00～17：00

※ 上記の4観光案内所は、JNTO（日本政府観光局）が広域案内かつ常時英語対応可を要件とする、「外国人観光案内所」カテゴリー2として認定されている。

イ 案内件数

場 所	案 内 件 数	うち外国人対応
J R 広島駅（南口）（9月まで）	16,221件	6,705件
J R 広島駅（新幹線口）（9月まで）	52,076件	20,885件
平和記念公園レストハウス内 （臨時観光案内所を含む）	48,150件	18,120件
紙屋町地下街（シャレオ）	15,541件	4,654件
合 計	131,989件	50,364件

(2) 来広観光客等動向調査

来広観光客の質的構成や動態をアンケート等により調査するとともに、広島市の観光情報に係る観光概況データを収集した。

a 来広観光客アンケート調査

年4回（6月、8月、10月、12月）、広島市を訪れた観光客を対象にアンケート調査を行った。（回収数 2,475人）

b 入込観光客調査

宿泊、観光施設及び交通機関等を対象（251件）に入込観光客調査を行った。

(3) ひろしまライトアップ事業の運営その他

「ひろしまドリミネーション」、「ひろしまフラワーフェスティバル」、「広島みなと 夢 花火大会」等の事務局分室を設置・運営し、広島への観光客誘致を推進した。

(4) ホームページの運営事業

広島広域観光情報サイト「ひろたび（<https://www.hiroshima-navi.or.jp/>）」および「Explore Hiroshima」を運営するとともに、SNSを活用した国内外への最新情報の発信により、広島への観光客誘致を推進した。

- ・ 種 類 日本語版、英語版、中国語版（簡体字版・繁体字版）ハングル版、フランス語版、ドイツ語版、タイ語版
全言語スマートフォン対応
- ・ ページビュー数 325万ページビュー／年

(5) フィルム・コミッション事業の運営

広島での映画、テレビドラマ等のロケ撮影の誘致・支援を行い、広島発の映像情報の発信などにより、広島のイメージアップを図るとともに、広島への観光客誘致を推進した。

ア ロケ撮影の誘致

	事業名	時期	場所
映像関連イベント	リンク・オブ・シネ・アジア(プサン国際映画祭関連)参加	平成29年10月14日(土)～17日(火)	プサン(韓国)
	ジャパン・コンテンツ・ショーケース(東京国際映画祭関連)出展	平成29年10月24日(火)～26日(木)	東京都
	広島国際映画祭の参加映像制作者への誘致活動	平成29年11月24日(金)～26日(日)	広島市
	ジャパン・フィルムコミッション(JFC)全国ロケ地フェア出展	平成30年1月24日(水)	東京都
映像制作者訪問等による誘致活動		随時	東京都、広島市等

【目標】 誘致件数 5件

【実績】 誘致件数12件

(内訳：映画4件、ドキュメンタリー映画2件、テレビドラマ1件、テレビ番組2件、その他3件)

【評価】 きめ細かで継続した誘致活動をしたことで、目標を上回ることができた。

イ ロケ撮影の支援

ロケ地情報の提供、施設の使用調整・許可申請手続、ボランティア・エキストラの募集、ロケハン同行・ロケ撮影立会等を行い、ロケ撮影を支援した。

区分	支援件数
映画	13件
テレビ番組	124件
テレビCM	17件
その他(プロモーションビデオ、雑誌、写真集等)	89件
計	243件

※ 主な支援作品：映画「孤狼の血」、映画「恋のしずく」、映画「鯉のはなシアター」、テレビドラマ「ふたりのキャンパス」、映像作品「ノーベル平和賞授賞式映像」

【目標】 支援件数200件

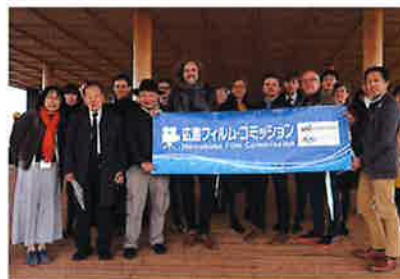
【実績】 支援件数243件

【評価】 柔軟で的確な対応を継続したことで、目標を上回ることができた。



©2018「孤狼の血」製作委員会

(映画「孤狼の血」ロケ撮影風景)



(広島国際映画祭参加映像制作者のロケ地視察)

ウ ロケ撮影環境の整備

市民に対しロケ撮影に関する講演会やパネル展等の開催及びメールマガジンによる発信を行い、フィルムコミッション事業に対する理解・協力を促すとともに、関係支援団体とも連携を図って、ロケ撮影のしやすい環境づくりの醸成を図った。

(ア) 広島フィルム・コミッションPRパネル展の開催

支援アニメ映画「この世界の片隅に」の原画、支援映画「エルネスト」のロケ撮影風景等の展示

会 場：中区役所1階ロビー、映像文化ライブラリー、旧日本銀行、戸坂公民館、二葉公民館、仁保公民館ほか

(イ) 広島国際映画祭でのPR

a 広島フィルム・コミッションに関連した4作品の上映及びゲストトークショー

(日本映画「この世界の片隅に」、日本映画「レミングスの夏」、日本映画「エルネスト」、アメリカ映画「ミリキタニの猫」)

b 広島フィルム・コミッションPRパネル等展示

(ウ) ロケ地巡りの実施

支援映画「孤狼の血」のロケ地を白石監督と巡った。

場 所：鷹野橋(旧サロンシネマ)、県庁

参加者数：57名(メールマガジンで募集)

エ 映像コンテンツ販売の支援

広島を題材に撮影された映像コンテンツの販売促進の支援を行った。

事 業 名	時 期	場 所
ジャパン・コンテンツ・ショーケース(東京国際映画祭関連イベント) 出展	平成29年10月24日(火) ～26日(木)	東京都

オ フィルム・コミッション間の連携

国際フィルム・コミッショナーズ協会(AFCI)、アジア・フィルム・コミッション・ネットワーク(AFCNet)、ジャパン・フィルムコミッション(JFC)、フィルム・コミッション中国ブロックに参加し情報交換等を行い、フィルム・コミッション間の連携強化を図った。

(6) 観光宣伝物作成・広告掲出

広島市が設置する街角観光案内所「トラベルパル」及び「トラベルパル・インターナショナル」で配布する観光パンフレットを増刷した。

区 分	名 称		部 数
国内向け観光 パンフレット	「ようこそ！広島へ 観光ガイドマップ」		63,000部
外国人向け観光 パンフレット	「ようこそ！広島へ 観光ガイドマップ」	英語版	48,000部
		中国語繁体字版	2,400部
		ハングル版	1,200部
		フランス語版	4,800部
		スペイン語版	4,800部
		イタリア語版	1,800部
		中国語簡体字版	0部
		タイ語版	0部
		ドイツ語版	0部

※ 中国語簡体字版・タイ語版・ドイツ語版は広島市に在庫があったため、今年度は作成していない。

(7) 平和大通りのにぎわいづくり

広島市のシンボル空間である平和大通りの特性を活かすとともに、立地条件やターゲット、ニーズを把握したうえでコンセプトを整理し、年間を通じてにぎわいを創出できる取組を検討した。

ア にぎわいづくりの担い手となる組織の設立に向けた検討

「平和大通りにぎわいづくり検討会議」における検討結果を踏まえ、将来的に、にぎわいづくりの担い手となる組織の設立に向けた検討を進めた。

・平和大通りにぎわいづくり検討会議開催回数 4回

〔平成29年4月28日（金）、平成29年7月24日（月）
平成29年10月23日（月）、平成30年1月22日（月）〕

イ にぎわいづくりイベントに係るモデル事業の実施

「平和大通りにぎわいづくり検討会議」における検討結果を踏まえ、にぎわいづくりイベントを幾つかモデル的に実施し、効果等の検証結果をにぎわいづくりの担い手となる組織の設立に向けた検討に反映した。

(ア) ひろしまドリミネーション2017・オープンカフェの実施

- ・開催期間 平成29年11月17日（金）～12月25日（月）
- ・開催場所 平和大通り

(イ) 平和大通り情報サイトの開設

- ・開設日 平成29年10月27日（金）
- ・アドレス <https://www.peace-boulevard.jp/>
- ・ページビュー 4,975ページビュー

(ウ) 平和大通り芸術展 Hiroshima ARTery の実施

- ・開催期間 平成30年1月27日(土)～3月4日(日)
- ・開催場所 平和大通り、エビデンギャラリー



(写真は、平和大通り芸術展Hiroshima ARTery 展示作品)

【収益事業】

I レストハウス売店運営事業

市民及び観光客が休憩施設として利用する平和記念公園レストハウス内に設置した売店において、広島産の土産品などを販売し、観光客の利便を図った。

なお、レストハウスの改修工事に伴い、平成30年1月31日で営業を休止した。

【その他】

I その他事業

1 賛助会員向け事業

(1) 会報の発行

コンベンションの開催情報や当ビューローの活動状況等を掲載した会報「Monthly News」を発行し、賛助会員等へ情報提供を行った。(毎月530部)

(2) 優良従業員表彰及び賛助会員交流会の実施

賛助会員の企業・団体に勤務する優秀な従業員を表彰し、観光事業及びコンベンション振興事業の健全な発展及び観光客への接遇向上を図った。また、併せて賛助会員交流会を開催し、賛助会員同士の交流を深めた。

ア 優良従業員表彰式

- ・開催日 平成30年2月6日(火)
- ・会場 ホテルグランヴィア広島
- ・受賞者 43人(18社)



イ 賛助会員交流会

- ・開催日 平成30年2月6日(火)
- ・会場 ホテルグランヴィア広島
- ・参加者数 140人



2 職員の研修事業

研修会等へ職員を派遣し、コンベンション誘致や開催ノウハウを習得した。

・JNTO MICEセミナー～初級者対象～

- 派遣期間 平成29年5月23日(火)
- 研修会場 フクラシア東京ステーション
- 派遣人数 1人

・一般社団法人日本コンGRES・コンベンション・ビューロー（JCCB）平成29年度総会

- 派遣期間 平成29年6月12日(月)
- 研修会場 京王プラザホテル
- 派遣人数 4人

・一般社団法人日本コンベンション協会（JCMA）社員総会及びセミナー

- 派遣期間 平成29年6月13日(火)
- 研修会場 品川プリンスホテル
- 派遣人数 2人

・一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA）社員総会及びセミナー

- 派遣期間 平成29年6月30日(金)
- 研修会場 羽田空港第一ターミナル
- 派遣人数 2人

・JCCB第1回コンベンション・ビューロー部会

- 派遣期間 平成29年7月20日(木)～21日(金)
- 研修会場 ホテル黒部及び北見市内MICE関連施設等
- 派遣人数 1人

・第1回グローバルMICE都市・都市力強化対策本部会議

派遣期間 平成29年11月2日(木)

研修会場 AP新橋虎ノ門

派遣人数 1人

・JCCB第2回コンベンション・ビューロー部会

派遣期間 平成29年12月7日(木)～8日(金)

研修会場 高知会館

派遣人数 1人

・JNTO MICEセミナー～上級者対象～

派遣期間 平成30年2月1日(木)～2日(金)

研修会場 梅田スカイビル

派遣人数 1人

・MICEシンポジウム

派遣期間 平成30年2月7日(水)

研修会場 品川プリンスホテル

派遣人数 1人

・国際観光コンベンションフォーラム2018 in 長崎

派遣期間 平成30年2月14日(水)～15日(木)

研修会場 長崎ブリックホール

派遣人数 2人

3 観光施設管理運営等受託事業

・観光資源維持管理

観光ライトアップ設備、観光案内板・サイン、JR広島駅新幹線口記念碑、広島拘置所壁画及び「灯和の径」の維持補修を行った。

【法人会計】

事務所移転

レストハウス耐震・改修工事に伴い、レストハウス内にある観光振興部事務所を、平成30年2月に広島商工会議所ビル内に移転した。

(参 考)

無償使用貸借資産

事業を実施するに当たって、広島市から無償使用貸借している資産は次のとおりである。

ア 土地及び建物

名 称	所 在 地	区分	現 在 高
広島国際会議場	中区中島町1番5号	土地 建物	駐車場 25.00㎡
			事務室等 161.30㎡

第2表 決算報告書

決 算 報 告 書
(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

貸 借 対 照 表
平成30年3月31日現在

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
(1) 現金預金	42,411,841	44,168,159	△ 1,756,318
(2) 未収金	336,000	858,687	△ 522,687
(3) 前払金	30,000	163,150	△ 133,150
(4) 短期貸付金	3,000,000	0	3,000,000
(5) 商品	0	255,234	△ 255,234
流動資産合計	45,777,841	45,445,230	332,611
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	917,364,040	977,352,040	△ 59,988,000
証券口座預け金	59,988,000	0	59,988,000
定期預金	314,810	314,810	0
普通預金	133,150	133,150	0
基本財産合計	977,800,000	977,800,000	0
(2) その他固定資産			
車両運搬具	2	2	0
什器備品	5	5	0
電話加入権	446,920	446,920	0
出資金	0	993,455	△ 993,455
敷金	1,818,000	0	1,818,000
その他固定資産合計	2,264,927	1,440,382	824,545
固定資産合計	980,064,927	979,240,382	824,545
資産合計	1,025,842,768	1,024,685,612	1,157,156
II 負債の部			
1 流動負債			
(1) 未払金	35,343,163	23,362,059	11,981,104
(2) 未払消費税等	877,700	2,020,200	△ 1,142,500
(3) 未払法人税等	1,177,100	1,500,300	△ 323,200
(4) 前受金	15,000	15,000	0
(5) 預り金	3,173,978	2,332,712	841,266
(6) 賞与引当金	8,600,805	8,534,470	66,335
(7) 短期借入金	3,000,000	0	3,000,000
流動負債合計	52,187,746	37,764,741	14,423,005
2 固定負債			
(1) 退職給付引当金	65,459,441	46,808,010	18,651,431
固定負債合計	65,459,441	46,808,010	18,651,431
負債合計	117,647,187	84,572,751	33,074,436
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
(1) 寄付金(広島市)	977,800,000	977,800,000	0
指定正味財産合計	977,800,000	977,800,000	0
(うち基本財産への充当額)	(977,800,000)	(977,800,000)	0
2 一般正味財産	△ 69,604,419	△ 37,687,139	△ 31,917,280
正味財産合計	908,195,581	940,112,861	△ 31,917,280
負債及び正味財産合計	1,025,842,768	1,024,685,612	1,157,156

貸借対照表内訳表

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業 会 計	収益事業等 会 計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1 流動資産					
(1) 現金預金	34,478,329	23,173,988	△ 15,240,476		42,411,841
(2) 未収金	336,000	0			336,000
(3) 前払金	25,700	0	4,300		30,000
(4) 短期貸付金	3,000,000				3,000,000
(5) 商品		0			0
流動資産合計	37,840,029	23,173,988	△ 15,236,176	0	45,777,841
2 固定資産					
(1) 基本財産					
投資有価証券	813,701,905	53,207,113	50,455,022		917,364,040
証券口座預け金	53,209,355	3,479,305	3,299,340		59,988,000
定期預金	279,236	18,259	17,315		314,810
普通預金	118,104	7,723	7,323		133,150
基本財産合計	867,308,600	56,712,400	53,779,000	0	977,800,000
(2) その他固定資産					
車両運搬具	2				2
什器備品	5				5
電話加入権	393,290	22,346	31,284		446,920
出資金	0	0	0		0
敷金			1,818,000		1,818,000
その他固定資産合計	393,297	22,346	1,849,284	0	2,264,927
固定資産合計	867,701,897	56,734,746	55,628,284	0	980,064,927
資産合計	905,541,926	79,908,734	40,392,108	0	1,025,842,768
II 負債の部					
1 流動負債					
(1) 未払金	32,620,566	722,705	1,999,892		35,343,163
(2) 未払消費税等	266,400	611,300			877,700
(3) 未払法人税等		1,177,100			1,177,100
(4) 前受金	15,000	0	0		15,000
(5) 預り金	2,826,172	73,142	274,664		3,173,978
(6) 賞与引当金	7,443,191	269,938	887,676		8,600,805
(7) 短期借入金	3,000,000	0	0		3,000,000
流動負債合計	46,171,329	2,854,185	3,162,232	0	52,187,746
2 固定負債					
(1) 退職給付引当金			65,459,441		65,459,441
固定負債合計	0	0	65,459,441	0	65,459,441
負債合計	46,171,329	2,854,185	68,621,673	0	117,647,187
III 正味財産の部					
1 指定正味財産					
(1) 寄付金（広島市）	867,308,600	56,712,400	53,779,000		977,800,000
指定正味財産合計	867,308,600	56,712,400	53,779,000	0	977,800,000
（うち基本財産への充当額）	(867,308,600)	(56,712,400)	(53,779,000)		(977,800,000)
2 一般正味財産	△ 7,938,003	20,342,149	△ 82,008,565		△ 69,604,419
正味財産合計	859,370,597	77,054,549	△ 28,229,565	0	908,195,581
負債及び正味財産合計	905,541,926	79,908,734	40,392,108	0	1,025,842,768

正 味 財 産 増 減 計 算 書
(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	17,208,745	18,068,384	△ 859,639	
② 受取会費				
賛助会費受取会費	12,662,500	12,595,000	67,500	
③ 事業収益	156,999,201	158,029,365	△ 1,030,164	
売店運営事業収益	29,297,195	39,130,117	△ 9,832,922	
広告事業収益	1,744,000	3,302,000	△ 1,558,000	
観光親善大使派遣事業収益	612,000	428,500	183,500	
広島市受託収益	125,346,006	115,168,748	10,177,258	
④ 受取負担金				
受取負担金	1,975,000	475,000	1,500,000	
⑤ 受取補助金等				
受取広島市補助金	162,120,093	130,989,922	31,130,171	
⑥ 雑収益	492,100	589,317	△ 97,217	
受取利息	951	14,814	△ 13,863	
雑収益	491,149	574,503	△ 83,354	
経常収益計	351,457,639	320,746,988	30,710,651	
(2) 経常費用				
① 事業費	321,409,337	294,563,527	26,845,810	
役員報酬	8,052,565	8,112,301	△ 59,736	
給料手当等	125,133,892	113,681,268	11,452,624	
賞与引当金繰入	7,713,129	7,596,199	116,930	
福利厚生費	27,064,656	25,332,525	1,732,131	
賃金	7,194,387	7,404,860	△ 210,473	
報償費	1,785,653	1,230,743	554,910	
普通旅費	10,288,899	9,122,010	1,166,889	
消耗品費等	3,881,418	5,377,186	△ 1,495,768	
燃料費	242,425	191,221	51,204	
食糧費	1,298,342	1,244,307	54,035	
光熱水費	1,099,512	1,012,579	86,933	
修繕料	515,205	465,922	49,283	
通信運搬費	2,792,458	3,163,189	△ 370,731	
手数料等	1,089,717	1,463,690	△ 373,973	
保険料	295,720	341,250	△ 45,530	
減価償却費	0	43,678	△ 43,678	
委託料	64,030,754	45,218,886	18,811,868	
使用料及び賃借料	10,990,710	8,511,512	2,479,198	
備品購入費	22,680	74,520	△ 51,840	
負担金、補助及び交付金	24,696,393	25,393,977	△ 697,584	
公課費	5,730,400	6,402,700	△ 672,300	
売店商品仕入費	17,484,794	23,166,215	△ 5,681,421	
雑損失	5,628	12,789	△ 7,161	

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
② 管理費	59,795,027	38,143,055	21,651,972	
役員報酬	6,998,959	7,050,879	△ 51,920	
給料手当等	11,262,962	11,216,102	46,860	
賞与引当金繰入	887,676	938,271	△ 50,595	
退職給付費用	18,651,431	3,496,148	15,155,283	
福利厚生費	4,259,607	4,244,251	15,356	
賃金	1,147,150	1,251,603	△ 104,453	
報償費	213,000	216,000	△ 3,000	
普通旅費	147,230	147,600	△ 370	
交際費	25,000	30,000	△ 5,000	
消耗品費等	371,968	460,004	△ 88,036	
食糧費	60,984	71,640	△ 10,656	
光熱水費	113,872	0	113,872	
通信運搬費	847,550	757,219	90,331	
手数料等	148,566	144,132	4,434	
委託料	5,887,505	520,575	5,366,930	
使用料及び賃借料	4,617,670	3,856,208	761,462	
備品購入費	373,680	0	373,680	
負担金、補助及び交付金	3,709,217	3,655,332	53,885	
雑費	0	91	△ 91	
公課費	71,000	87,000	△ 16,000	
経常費用計	381,204,364	332,706,582	48,497,782	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 29,746,725	△ 11,959,594	△ 17,787,131	
当期経常増減額	△ 29,746,725	△ 11,959,594	△ 17,787,131	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産減損損失				
出資金減損損失	993,455	0	993,455	
経常外費用計	993,455	0	993,455	
当期経常外増減額	△ 993,455	0	△ 993,455	
他会計振替額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	△ 30,740,180	△ 11,959,594	△ 18,780,586	
法人税、住民税及び事業税	1,177,100	1,500,300	△ 323,200	
当期一般正味財産増減額	△ 31,917,280	△ 13,459,894	△ 18,457,386	
一般正味財産期首残高	△ 37,687,139	△ 24,227,245	△ 13,459,894	
一般正味財産期末残高	△ 69,604,419	△ 37,687,139	△ 31,917,280	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	977,800,000	977,800,000	0	
指定正味財産期末残高	977,800,000	977,800,000	0	
III 正味財産期末残高	908,195,581	940,112,861	△ 31,917,280	

正味財産増減計算書内訳表
平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計		法人会計	内部取引消去	合 計
	コパ・ジョン振興事業	小計	レストラン・売店運営事業	その他事業			
I 一般正味財産増減の部							
1 経常増減の部							
(1) 経常収益							
① 基本財産運用益	15,264,157	15,264,157		998,107	946,481		17,208,745
② 受取利息							0
基本財産受取利息							12,662,500
③ 事業収益	400,000	11,206,313	29,297,195	9,372,056	1,456,187		156,999,201
賛助会費受取会費		117,929,950	29,297,195		0		29,297,195
売店運営事業収益	400,000	0	29,297,195				1,744,000
広告事業収益		1,344,000					612,000
観光親善大使派遣事業収益		612,000					125,346,006
広島市受託収益		115,973,950		9,372,056			0
④ 受取負担金		1,520,000		455,000			1,975,000
受取負担金							0
⑤ 受取補助金等	86,204,061	47,289,306					162,120,093
受取広島市補助金	0	100,010	227,090	0	28,626,726		492,100
⑥ 雑収益		10	941		0		951
受取利息		100,000	226,149		165,000		491,149
雑収益							
経常収益計	101,868,218	178,045,579	29,524,285	10,825,163	31,194,394	0	351,457,639
(2) 経常費用							
① 事業費							
役員報酬	103,198,175	184,284,846	22,637,725	11,288,591	0		321,409,337
給料手当等	3,537,108	4,515,457		0			8,052,565
賞与引当金繰入	43,233,349	76,851,638		5,048,905			125,133,892
福利厚生費	2,543,009	4,900,182		269,938			7,713,129
賃金	8,855,551	17,402,231	20,264	786,610			27,064,656
賃金	1,290,920	2,833,006	3,070,461	0			7,194,387
報償費	612,910	1,172,743		0			1,785,653
普通旅費	5,063,616	4,658,813		566,470			10,288,899
消耗品費等	1,896,687	1,769,465	48,569	166,697			3,881,418
燃料費	158,132	84,293		215,266			242,425
食糧費	436,354	166,593		0			1,298,342
光熱水費	0	23,509		695,395			1,099,512
修繕料	13,068	115,497		1,076,003			515,205
通信運搬費	1,051,043	1,452,727		386,640			2,792,458
手数料等	42,680	1,032,133	65,808	222,880			1,089,717
保険料	89,580	206,140	14,904	0			295,720
減価償却費	0		0	0			0
委託料	13,175,170	49,304,729		1,550,855			64,030,754
使用料及び賃借料	4,117,198	5,902,894	960,520	10,098			10,990,710
備品購入費	0	22,680		0			22,680
負担金、補助及び交付金	17,032,700	7,336,316	190,877	136,500			24,696,393
公課費	49,100	4,533,800	775,900	371,600			5,730,400
売店商品仕入費			17,484,794				17,484,794
雑損失		0	5,628				5,628

②	管理費	0	0	0	0	0	0	0	59,795,027	59,795,027		59,795,027
	役員報酬								6,998,959	6,998,959		6,998,959
	給料手当等								11,262,962	11,262,962		11,262,962
	賞与引当金繰入								887,676	887,676		887,676
	退職給付費用								18,651,431	18,651,431		18,651,431
	福利厚生費								4,259,607	4,259,607		4,259,607
	賃金								1,147,150	1,147,150		1,147,150
	報償費								213,000	213,000		213,000
	普通旅費								147,230	147,230		147,230
	交際費								25,000	25,000		25,000
	消耗品費等								371,968	371,968		371,968
	食糧費								60,984	60,984		60,984
	光熱水費								113,872	113,872		113,872
	通信運搬費								847,550	847,550		847,550
	手数料等								148,566	148,566		148,566
	委託料								5,887,505	5,887,505		5,887,505
	使用料及び賃借料								4,617,670	4,617,670		4,617,670
	備品購入費								373,680	373,680		373,680
	負担金、補助及び交付金								3,709,217	3,709,217		3,709,217
	雑費								0	0		0
	公課費								71,000	71,000		71,000
2	經常費用計	103,198,175	184,284,846	287,483,021	22,637,725	11,288,591	33,926,316	59,795,027	0	381,204,364		381,204,364
	評価損益等調整前当期經常増減額	△ 1,329,957	△ 6,239,267	△ 7,569,224	6,886,560	△ 463,428	6,423,132	△ 28,600,633	0	△ 29,746,725		△ 29,746,725
	当期經常増減額	△ 1,329,957	△ 6,239,267	△ 7,569,224	6,886,560	△ 463,428	6,423,132	△ 28,600,633	0	△ 29,746,725		△ 29,746,725
	經常外増減の部											
(1)	經常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
(2)	經常外費用											
	固定資産減損損失											
	出資金減損損失	874,240		874,240			49,673	69,542		993,455		993,455
	經常外費用計	874,240	0	874,240	0	49,673	49,673	69,542	0	993,455		993,455
	当期經常外増減額	△ 874,240	0	△ 874,240	0	△ 49,673	△ 49,673	△ 69,542	0	△ 993,455		△ 993,455
	他会計振替額	317,537	1,332,463	1,650,000	△ 2,000,000		△ 2,000,000	350,000		0		0
	税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,886,660	△ 4,906,804	△ 6,793,464	4,886,560	△ 513,101	4,373,459	△ 28,320,175	0	△ 30,740,180		△ 30,740,180
	法人税、住民税及び事業税				1,177,100		1,177,100			1,177,100		1,177,100
	当期一般正味財産増減額	△ 1,886,660	△ 4,906,804	△ 6,793,464	3,709,460	△ 513,101	3,196,359	△ 28,320,175	0	△ 31,917,280		△ 31,917,280
	一般正味財産期首残高	4,528,402	△ 5,672,941	△ 1,144,539	16,967,067	178,723	17,145,790	△ 53,688,390		△ 37,687,139		△ 37,687,139
	一般正味財産期末残高	2,641,742	△ 10,579,745	△ 7,938,003	20,676,527	△ 334,378	20,342,149	△ 82,008,565	0	△ 69,604,419		△ 69,604,419
II	指定正味財産増減の部											
	当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	指定正味財産期首残高	867,308,600	0	867,308,600	0	56,712,400	56,712,400	53,779,000	0	977,800,000		977,800,000
	指定正味財産期末残高	867,308,600	0	867,308,600	0	56,712,400	56,712,400	53,779,000	0	977,800,000		977,800,000
III	正味財産期末残高	869,950,342	△ 10,579,745	859,370,597	20,676,527	56,378,022	77,054,549	△ 28,229,565	0	908,195,581		908,195,581

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券は取得価額による原価法を採用している（償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため、適用していない。）。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品……最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価の切り下げの方法により算定）によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

什器備品……定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金……職員の賞与の支給に備えるため、支給対象期間に対応する支給見込額を計上している。

退職給付引当金……職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	977,352,040	0	59,988,000	917,364,040
証券口座預け金	0	59,988,000	0	59,988,000
定期預金	314,810	0	0	314,810
普通預金	133,150	0	0	133,150
合 計	977,800,000	59,988,000	59,988,000	977,800,000

3 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産 からの充当額）	（うち一般正味財 産からの充当額）	（うち負債に 対応する額）
基本財産				
投資有価証券	917,364,040	(917,364,040)	(ー)	(ー)
証券口座預け金	59,988,000	(59,988,000)		
定期預金	314,810	(314,810)	(ー)	(ー)
普通預金	133,150	(133,150)	(ー)	(ー)
合 計	977,800,000	(977,800,000)	(ー)	(ー)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	2,088,500	2,088,498	2
什器備品	851,581	851,576	5
合 計	2,940,081	2,940,074	7

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。
(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
第301回利付国債	45,422,560	46,257,000	834,440
第109回利付国債	295,413,000	359,370,000	63,957,000
第121回利付国債	296,391,000	364,740,000	68,349,000
第159回利付国債	80,601,480	82,952,100	2,350,620
第6回道路機構債	199,536,000	211,020,000	11,484,000
合 計	917,364,040	1,064,339,100	146,975,060

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
コンベンション振興事業補助金	広島市	0	73,961,942	73,961,942	0	—
観光事業補助金	広島市	0	34,675,571	34,675,571	0	—
管理運営補助金	広島市	0	53,482,580	53,482,580	0	—
合 計		0	162,120,093	162,120,093	0	

附 属 明 細 書

- 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表に対する注記の「2 基本財産の増減額及びその残高」において記載しているため省略する。
- 引当金の明細
引当金の明細は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	46,808,010	18,651,431	0	0	65,459,441
賞与引当金	8,534,470	8,600,805	8,534,470	0	8,600,805

財 産 目 録

平成30年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)				
	現金	手許保管	運転資金として	0
	証券口座預け金	大和証券	〃	12,000
	預金	普通預金 広島銀行大手町支店	〃	23,973,412
		広島信用金庫八丁堀支店	〃	1,062,523
		もみじ銀行広島中央支店	〃	0
		広島市信用組合本店営業部	〃	14,363,828
	定期預金	広島信用金庫八丁堀支店	〃	3,000,000
		広島市信用組合本店営業部	〃	78
	未収金	広告掲載業者ほか	広告掲載料等の未収分	336,000
	前払金	退職共済積立金等	職員の退職共済積立金等	30,000
	短期貸付金	第25回国際音響振動会議	コンベンション開催準備資金の貸付	3,000,000
	商品	レストハウス売店商品	収益事業の販売用商品	0
流動資産合計				45,777,841
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	第301回利付国債	満期保有目的の共用財産であり、運用益の88.7%を公益目的事業に、5.5%を管理運営に、5.8%をその他事業に供している。	45,422,560
		第109回利付国債	〃	295,413,000
		第121回利付国債	〃	296,391,000
		第159回利付国債	〃	80,601,480
		第6回道路機構債	〃	199,536,000
	証券口座預け金	大和証券広島支店	共用財産であり、運用益の88.7%を公益目的事業に、5.5%を管理運営に、5.8%をその他事業に供している。	59,988,000
	定期預金	広島市信用組合本店営業部		314,810
	普通預金	広島銀行広島市役所支店	〃	133,150
	車両運搬具	車両2台	公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している。	2
	什器備品	パソコン2台、歓迎用看板土台1基、スーツケース2個	〃	5
その他固定資産	電話加入権	電話8回線	共用財産であり、88%を公益目的保有財産として公益目的事業に、7%を管理運営に、5%を収益等事業に供している。	446,920
	敷金	広島商工会議所	広島商工会議所ビル内事務室の賃借契約に基づく敷金	1,818,000
固定資産合計				980,064,927
資産合計				1,025,842,768
(流動負債)				
	未払金	厚生労働省年金局(広島東)ほか	平成29年度社会保険料等の未払分	35,343,163
	未払消費税等	広島西税務署	平成29年度消費税等の未払分	877,700
	未払法人税等	広島西税務署、広島県西部県税事務所、広島市	平成29年度法人税等の未払分	1,177,100
	前受金	賛助会員	翌年度の賛助会費の預り金	15,000
	預り金	職員、臨時職員、パート等	源泉徴収所得税等の預り金	3,173,978
	賞与引当金	職員	役員、職員に対する賞与支払いに備えたもの	8,600,805
	短期借入金	広島銀行大手町支店	コンベンション開催準備資金	3,000,000
流動負債合計				52,187,746
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員	職員17名に対する退職金の支払いに備えたもの	65,459,441
固定負債合計				65,459,441
負債合計				117,647,187
正味財産合計				908,195,581

収 支 計 算 書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A)-(B)	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入				
① 基本財産利息収入	16,949,000	17,208,745	△ 259,745	
(2) 会費収入				
① 賛助会費収入	12,945,000	12,662,500	282,500	
(3) 事業収入	48,282,000	33,271,429	15,010,571	
① 営業収入	44,604,000	29,552,429	15,051,571	売店売上収入の減
② 広告収入	1,408,000	1,744,000	△ 336,000	インバウンド受入ビジネスフェア出展料収入の増
③ 負担金収入	2,270,000	1,975,000	295,000	
(4) 補助金収入				
① 広島市補助金収入	172,004,000	162,120,093	9,883,907	事業費等の減
(5) 受託事業収入				
① 広島市受託事業収入	131,603,000	125,346,006	6,256,994	事業費等の減
(6) 雑収入				
① 雑収入	1,285,000	1,104,100	180,900	
(7) 貸付金返還収入				
① コンベンション開催準備資金貸付金返還収入	5,000,000	0	5,000,000	コンベンション主催者からの返還金の皆減
(8) 他会計からの繰入金収入				
① 収益事業等会計からの繰入金収入	8,000,000	2,000,000	6,000,000	
事業活動収入計	396,068,000	353,712,873	42,355,127	
2 事業活動支出				
(1) コンベンション振興事業費支出	116,412,000	103,304,496	13,107,504	
① 情報収集事業費支出	828,050	665,403	162,647	
② コンベンションの誘致・支援事業費支出	42,582,950	34,551,749	8,031,201	委託料、使用料及び賃借料等の執行残
③ 広報・宣伝事業費支出	2,264,000	1,929,068	334,932	通信運搬費等の執行残
④ 調査・企画事業費支出	905,000	679,968	225,032	報償費等の執行残
⑤ 事務費支出	1,276,000	982,862	293,138	
⑥ 人件費支出	68,556,000	64,495,446	4,060,554	
(2) 観光事業費支出	69,341,000	68,098,597	1,242,403	
① 観光客の受入態勢整備事業費支出	4,251,254	3,920,216	331,038	
② 観光資源整備・開発事業費支出	610,000	602,400	7,600	
③ 観光宣伝・誘致活動推進事業費支出	22,968,056	22,434,038	534,018	
④ 事務費支出	3,828,710	3,742,739	85,971	
⑤ 人件費支出	37,682,980	37,399,204	283,776	
(3) 受託事業費支出				
① 観光施設管理運営等受託事業費支出	131,603,000	125,346,006	6,256,994	事業費等の執行残
(4) 貸付金支出				
① コンベンション開催準備資金貸付金支出	5,000,000	3,000,000	2,000,000	コンベンション開催準備資金貸付金支出の執行残

科 目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A)-(B)	備 考
(5) レストハウス売店運営事業費支出				
① 売 店 事 業 費 支 出	36,804,000	23,814,825	12,989,175	売店商品仕入費等の執行残
(6) その他事業費支出	2,135,000	1,905,583	229,417	
① 賛 助 会 員 向 け 事 業 費 支 出	1,387,000	1,202,613	184,387	
② 職 員 の 研 修 事 業 費 支 出	748,000	702,970	45,030	
(7) 管理費支出	44,689,000	43,012,191	1,676,809	
① 会 議 費 支 出	1,041,000	529,202	511,798	使用料及び賃借料等の執行残
② 事 務 費 支 出	11,358,000	10,385,356	972,644	
③ 事 務 所 移 転 費 支 出	8,700,000	8,637,834	62,166	
④ 人 件 費 支 出	23,590,000	23,459,799	130,201	
(8) 他会計への繰入金支出				
① 公益目的事業会計等への繰入金支出	8,000,000	2,000,000	6,000,000	
事業活動支出計	413,984,000	370,481,698	43,502,302	
事業活動収支差額	△ 17,916,000	△ 16,768,825	△ 1,147,175	
II 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
(1) 借入金収入	5,000,000	6,000,000	△ 1,000,000	
① コンベンション開催準備資金借入金収入	5,000,000	3,000,000	2,000,000	金融機関からの一時借入金の皆増
② 一 時 借 入 金 収 入	0	3,000,000	△ 3,000,000	
財務活動収入計	5,000,000	6,000,000	△ 1,000,000	
2 財務活動支出				
(1) 借入金返済支出	5,000,000	3,000,000	2,000,000	
① コンベンション開催準備資金借入金返済支出	5,000,000	3,000,000	2,000,000	
② 一 時 借 入 金 返 済 支 出	0	0	0	
財務活動支出計	5,000,000	3,000,000	2,000,000	
財務活動収支差額	0	3,000,000	△ 3,000,000	
III 予備費支出	600,000	0	600,000	
当期収支差額	△ 18,516,000	△ 13,768,825	△ 4,747,175	
前期繰越収支差額	21,470,000	15,959,725	5,510,275	
次期繰越収支差額	2,954,000	2,190,900	763,100	

収 支 計 算 書 内 訳 表
平成２９年４月１日から平成３０年３月３１日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 事業活動収支の部					
1 事業活動収入					
基本財産運用収入					
基 本 財 産 利 息 収 入	15,264,157	998,107	946,481		17,208,745
会費収入					
賛 助 会 費 収 入	11,206,313		1,456,187		12,662,500
事業収入	3,264,000	30,007,429			33,271,429
営 業 収 入		29,552,429			29,552,429
広 告 収 入	1,744,000				1,744,000
負 担 金 収 入	1,520,000	455,000			1,975,000
補助金収入					
広 島 市 補 助 金 収 入	133,493,367		28,626,726		162,120,093
受託事業収入					
広 島 市 受 託 事 業 収 入	115,973,950	9,372,056			125,346,006
雑収入					
雑 収 入	712,010	227,090	165,000		1,104,100
貸付金返還収入					
コンベンション開催準備 資金貸付金返還収入	0				0
他会計からの繰入金収入					
収 益 事 業 等 会 計 か ら の 繰 入 金 収 入	1,650,000		350,000		2,000,000
事業活動収入計	281,563,797	40,604,682	31,544,394	0	353,712,873

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
2 事業活動支出					
コンベンション振興事業費支出	103,304,496				103,304,496
情報収集事業費支出	665,403				665,403
コンベンションの誘致・支援事業費支出	34,551,749				34,551,749
広報・宣伝事業費支出	1,929,068				1,929,068
調査・企画事業費支出	679,968				679,968
事務費支出	982,862				982,862
人件費支出	64,495,446				64,495,446
観光事業費支出	68,098,597				68,098,597
観光客の受入態勢整備事業費支出	3,920,216				3,920,216
観光資源整備・開発事業費支出	602,400				602,400
観光宣伝・誘致活動推進事業費支出	22,434,038				22,434,038
事務費支出	3,742,739				3,742,739
人件費支出	37,399,204				37,399,204
受託事業費支出					
観光施設管理運営等受託事業費支出	115,973,950	9,372,056			125,346,006
貸付金支出					
コンベンション開催準備資金貸付金支出	3,000,000				3,000,000
レストハウス売店運営事業費支出					
売店事業費支出		23,814,825			23,814,825
その他事業費支出		1,905,583			1,905,583
賛助会員向け事業費支出		1,202,613			1,202,613
職員の研修事業費支出		702,970			702,970
管理費支出			43,012,191		43,012,191
会議費支出			529,202		529,202
事務費支出			10,385,356		10,385,356
事務所移転費支出			8,637,834		8,637,834
人件費支出			23,459,799		23,459,799
他会計への繰入金支出					
公益目的事業会計等への繰入金支出		2,000,000			2,000,000
事業活動支出計	290,377,043	37,092,464	43,012,191	0	370,481,698
事業活動収支差額	△ 8,813,246	3,512,218	△ 11,467,797	0	△ 16,768,825

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
II 財務活動収支の部					
1 財務活動収入					
借入金収入	6,000,000				6,000,000
コンベンション開催準備 資金借入金収入	3,000,000				3,000,000
一時借入金収入	3,000,000				3,000,000
財務活動収入計	6,000,000	0	0	0	6,000,000
2 財務活動支出					
借入金返済支出	3,000,000				3,000,000
コンベンション開催準備 資金借入金返済支出	3,000,000				3,000,000
一時借入金返済支出	0				0
財務活動支出計	3,000,000	0	0	0	3,000,000
財務活動収支差額	3,000,000	0	0	0	3,000,000
III 予備費支出		0	0		0
当期収支差額	△ 5,813,246	3,512,218	△ 11,467,797	0	△ 13,768,825
前期繰越収支差額	4,773,479	17,077,523	△ 5,891,277	0	15,959,725
次期繰越収支差額	△ 1,039,767	20,589,741	△ 17,359,074	0	2,190,900

収 支 計 算 書 に 対 す る 注 記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、立替金、未払金、未払消費税等、未払法人税等、前受金及び預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	44,168,159	42,411,841
未収金	858,687	336,000
前払金	163,150	30,000
立替金	0	0
合 計	45,189,996	42,777,841
未払金	23,361,759	35,343,163
未払消費税等	2,020,500	877,700
未払法人税等	1,500,300	1,177,100
前受金	15,000	15,000
預り金	2,332,712	3,173,978
合 計	29,230,271	40,586,941
次期繰越収支差額	15,959,725	2,190,900

監 査 報 告 書

公益財団法人広島観光コンベンションビューロー
理事長 深 山 英 樹 様

平成30年5月15日

公益財団法人広島観光コンベンションビューロー

監 事 曾 川 祐 治 

監 事 隈 元 泰 治 

私たち監事は、平成29年度公益財団法人広島観光コンベンションビューローの会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法及びその内容

- (1) 会計監査について、帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、財務諸表及び財産目録等の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、監事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。